

えべつの未来づくりミーティング

～ 野幌地区自治会連絡協議会編 ～

令和4年7月6日（水） 江別市民会館2階21号室

午前10時～午後0時15分

1 江別市の「強み」「弱み」は

・大都市の札幌市に隣接していることは強み。他の地方都市に比べて、人口減少率が低い。また、大学が四つあること、市債残高が近隣都市に比べて少ないこと、森林公園があり、大小含めて公園の数も多い。また、水害に対して強く、一部を除いて心配はないと思う。そのほか、交通事故、特に死亡事故が少ないことや、農業が盛んでハルユタカやブロッコリーなどの自慢できる農作物があることなども強み。一方、札幌市に隣接していることは弱みにもなっている。有名な大型店が少なく、札幌市に行けば何でも入手できるため、高価な物などは、札幌市で買えば良いと思っており、これが



税込減や雇用に影響している。そのほか、総合病院の数や、第二次産業が少ないため、大学生が卒業後、市外に転出することにつながっていること、また、高齢化が進む中で、買物難民が既に発生していることや、空き家が結構あることなどが弱み。また、観光施設が少なく、地元の農産物を出品できるような道の駅がない。札幌市から客を呼べるような施設を作ってほしい。降雪量についても、雪が多いというイメージがあれば、弱みにつながってしまうと思う。



・税金が少なければ、投資も少なくなるが、そのような中でも、市政を着実に進めてきたと思うし、それは強みだと思う。ただ、無理な投資は避けながら、新庁舎建設や江別市立病院の健全化を進めてほしい。産業面では、基幹産業は農業だと思うが、農業をより一層振興してほしい。協働では、自治会は協働の重要な担い手であると認識しているが、市として、市民活動を補助していくことが必要ではないかと思う。江別市にずっと住んでいる人と、新しく来た方との関係は、結構うまくいっていると感じている。

・札幌市の隣であることが逆に弱点でもあり、江別市立病院への要望や、地下鉄を江別市まで延伸してほしいなど、要望内容が札幌市と同様になってきている。また、除排雪について、江別市の降雪量



が多いのは、今に始まったことではない。自分は、江別市の除排雪の仕方が悪いとは思わないが、市外から、江別市の冬を知らない転入者が増えているため、隣の札幌市と同じようにしてほしいという要望が増えているように感じる。財源が限られる中で、財政規模の異なる札幌市と同じ要望に対処するのはそもそも難しいと思う。

・札幌市内のマンションに住んでいたが、戸建てに住みたいと思い、JRもあるので江別市に転入してきた。強みは、札幌市に近いことだと思うので、札幌市のベッドタウンであるという良さ、まだある土地を生かして、民間任せではなく、宅地造成を進めてほしい。弱みは、自分も後期高齢者になる中、車の運転免許証を返納した後、公共交通が充実しているかどうか不安である。JRや路線バスのほか、市内循環バスなどを充実させてほしい。病院や江別蔦屋書店などに行きたくても、1時間に1本では困る。今はまだ子育て世代が多く、若い人が多い状況かもしれないが、今後を見据えて対応してほしい。

・強み、弱みは、いろいろと変化していくものなので、うまく生かしてほしい。市外から引っ越してきて、最初にびっくりしたことは、三つの地区に分かれていること。子どもにとってはお祭りが3回あるからうれしいと思うし、歴史的な背景や理由があることは分かったが、実際の市民生活とかけ離れた分かれ方をしていると思う。今後、江別市全体でコンパクトになっていく時には、総合的に考えるべき。三つに分けると、無駄も多いと思う。また、江別市に来る方は、JR江別駅がメインだと思うので、恥ずかしくない風景を作ることが大事だと思う。そのほか、江別市にはドッグランがない。地域を宣伝するため、観光ポイントの一つとして、ドッグランを作ってほしい。

・以前住んでいた市も市外からの転入者が多かったが、市外からの転入者が多い地域ほど、市民活動の活気を感じた。よそから来た方は、以前住んでいたところと比較するので、良かったら良いと言うし、悪かったら直そうと思うもの。江別市は、大学生や子育て世帯が多いので、市民活動は活発なのではないかと思うし、もっと活発にできる可能性を秘めていると思う。それから、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が重要。江別市役所にも、本年4月にデジタル政策の担当部門が設置された。10年後にはどうなっているのか分からないが、DXを生かして、弱みを強みに変えることができると思う。



・強みは、子育て世帯にやさしいこと。保育園の数も増えており、札幌市が近く、子育て支援も手厚い。地価も札幌市に比べて高くない。また、新札幌やポールパークができる北広島市にも近い。そういった華やかなところが近くにあって、その近くに住みたい人が江別市を選んでいる。弱みは、広い土地を生かし切れていないこと。いろいろな人が来る施設が少ないと思う。周辺自治体に住んでいる人が、江別市でお金を使う場所が少ない。そのほか、大学があるのは強みであり、酪農や芸術など、専門的なことを学ぶところが多いが、そのような人たちの就職先が少ないのは、もったいないと思う。

2 自治会活動の現状と課題について

・野幌地区全体では、自治会加入率が年々低下している。令和3年度は66.7%まで下がった。これは野幌地区には、アパートが多くあることが要因だと思われる。マンションやアパートの家主に、自治会に加入することを入居条件にしてほしいと頼んだが、できないと言われた。また、役員のなり手が不足している。企業の定年延長や、再任用の増加も要因であるが、そもそも自治会に関わりたくないという意識が大きな要因だと思われる。また、住区会館の維持に苦労しているほか、コロナ禍で、自治会の活動や行事が減って、2、3年やらなくても問題なかったのだから、もうやらなくてもいいのではないかという意識が根づく、自治会の衰退につながってしまうことに不安を感じる。どの自治会も、役員の輪番制を導入していると思うが、高齢化の影響で、集金などの業務を行うことが難しくなっている。



・自治会の予算増が見込めない中でも、いろいろとかかる支出がある。最近、排雪費が高騰している。そうなる、自治会費を上げなければならないが、自治会の会議で地域住民に説明すると、年金生活者も多い中で、どう思われるのかが心配である。

・市は、自助・公助・共助や市民協働と言っている、市職員も、補助でもいいので役員になってほしい。

・役員のなり手不足は、やはり、参加意識が希薄だからではないだろうか。地域のお祭りがあると、多くの子どもや親子は参加するが、参加意識は全体的に希薄だと思う。

・自分の自治会の役員は、全員現役世代。現在、会長から、会計監査までを入れて約20名だが、60代以上は2名しかいない。現役世代でもできる自治会活動にすることが重要。高齢化が進むと、役員と参加する住民の意識が離れてしまう。そのため、現役世代に企画してもらい、口を出さないようにしている。コロナ禍で気付いた大切なことは、行事の回数ではないというこ

と。行事のために無理すると、役員がいなくなってしまう。そこで出した結論は、生活に必要な自治会に生まれ変わる。無理なく活動できる体制にして、例えば、自治会費は会費ペイ(Web)を通じて振り込んでもらうことなどを考えている。会費も、排雪、ごみ、街灯と、使用目的ごとに分けた。電気代、排雪費、ごみステーションにはこれだけの費用がかかり、それを自治会が集金しているだけで、生活に絶対必要なものが自治会費に含まれているので払ってくださいと言うと、皆さんは大体払ってくれる。また、今、スマートフォンの普及率は約8割なので、支払い方法はスマートフォンを利用できる人に合わせて、スマートフォンが使えない人は、今まで通りの方法で集金することにした。自治会回覧も、スマートフォンが使える人とはLINE WORKSで共有することにして、回覧板は回さない。そのほかの人には、今まで通りの回覧を行っている。今後、2025年問題、(団塊の世代800万人全員が75歳以上になる)、2040年問題(65歳以上の高齢者の人口がピークになる)、2050年問題(日本の人口は約1億人まで減少、労働力人口の減少、インフラの老朽化による地方の消滅など)などの危機が日本に来る前に、自治会の運営体制を整えておいて、このような危機こそ、人材確保の好機と捉えて取り組んでいきたい。

・自治会の活動というと、回覧板、お祭り、集金に来るというイメージだと思うが、そのほかに、自治会は何をしているのか分からない若者が多いと思う。自治会は、楽しいことを行っているし、必要なこともやっているが、事務的な内容を効率化して、楽しそうな内容を多く見せることで、若者も集まるのではないかと思った。戸建ての世帯の加入率は高いが、加入率が低いアパートに引っ越して来る方にも、自治会での会費の使われ方を理解してもらえれば、加入世帯は多くなると思う。

3 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について

・何をやるにもお金がかかるので、市の財政強化が重要だと思う。第二次産業の誘致が重要。例えば、期限付きで市税を優遇するなど。まだ市内には空き地があるので、そこに製造業を呼び込むのはどうだろうか。次に、道路の除排雪の充実。個人的には決して悪くないと思っているが、歩道の交差点の角は、もう少し除雪してほしい。もう一つ、新庁舎の建設。私は、よく市役所に行くが、夏は暑くて辛い。また、狭いし、市職員が気の毒である。仕事の効率も非常に悪くなると思う。あらゆる補助を有効活用して、早く新庁舎を建設すべきだと思う。そして、アンケート調査で、満足度が低くて重要が高い項目を優先的に取り組むべきだと思う。



・市税収入が少ないのは、大学生が多いこともあると思うが、税収を増やすには、企業誘致や雇用の創出が必要だと思う。また、地域医療も重要であり、江別市立病院の経営改善が必要だと思う。産み育てる環境も、引き続き充実させるべきだと思う。子育て支援につながる手当や給付も増やしていくことが必要ではないだろうか。

・市の財政は厳しいが、若い世代が多く入ってきて、人口減少が抑制されているので、子どもたちの成長のために取り組むとともに、市民要望の高いものから、順次取り組んでもらえたら良いと思う。

・保育園や公園など、子育て環境は充実していると思うが、少子化対策は家族や企業、社会全体で取り組むべき重要な課題であり、合計特殊出生率をさらに上げていかなければならないと思う。

・やはり、安全安心が重要。「江別市は、安全安心だよ」と言われることが大切だと思う。市、警察、公安委員会、市の教育機関や学校、大学、自治会連絡協議会などが集まった、安全安心なまちづくりを協議する機関をつくってはどうか。安全安心を売りにしていけるようにしてほしい。

・現役時代に、10年間にわたって同じ方法で仕事をしていたら、その会社は潰れると教わった。自治会も同じだと思っている。同じ目的でも、手法が一緒ではだめだと思う。そのような中、これからはDXが重要だと思う。情報通信技術はあくまでも手段であり、目標が重要。江別市をこうするという目標を決めて、DXを進めていくことが重要。地域経済を市内で循環させるために、DXによって、地域通貨を作って、市外にお金を流出させないことも可能である。今はないものでも目標を立てて、DXで作りに上げていく必要があると思う。



・江別市がベッドタウンである位置づけは変わらないと思っている。住みやすさを追求していくことが大切だと思う。また、札幌市や北広島市の動向に加えて、北海道新幹線が札幌市まで延伸されることなどを意識して、江別市独自のまちづくりを進め、ベッドタウンとしての強さを作っていく必要があると思う。今後、人口は減少していくと思うが、ある程度、転入してくる方もいると思う。その方々が、高齢化していくことを見据えて、公共交通など、今後の高齢化に向けた都市基盤づくりの準備を行っていく必要があると思う。

